

JFEシステムズ／メルクネット導入事例

⑦

ヤマサ醤油は原料規
格書(原料情報)収集
の迅速化ならびに精度
アップのためにJFE
システムズのメルクリ
ウスネット(メルクネ
ット)を導入した。

規格書を受け取るだけ
でなく、川下の食品メ
ーカーに規格書を提出
する原料サプライヤー
の顔も持つ。原料サプ
ライヤーがメルクネッ
ト上で共通の書式を使
うことにより、一度作
成した規格書をほかの
顧客にも使えるので、
原料サプライヤーとし
ても魅力的だった。

今後、メルクネット
使用ユーザーが拡大す
ることで、原料サプラ
イヤーとしても規格書
の共通化によるメリッ
トの享受を期待してい
る。

メルクネットで得た原
料情報を商品情報に連
携した。導入の流れと
り、品質保証部では自
社は2014年2月

ヤマサ醤油

細部の変更があった。
9割が要再提出で根気
よくやりとりを続け、
15年10月に原料規格書
の収集が完了した」
(丸茂剛購買課担当課
長)。試作品から商品
までの開発から規格書

1を作り、権限委譲な
どを行い、円滑に業務
を進められるようにし
た。業務改善が進み、
原料情報は共通書式で
必要情報が的確に得ら
れ、精度も大幅に向上
した。「稼働までは数
回の延期があり、大変
ではあったが、稼働後
は大きな混乱もなく、
運用でも関連部署から
提出の機能も活用す
る。CVS向けなど商
流の早い商品の原料規
格書は全項目を埋めな
くても試作開発に利用
できる工夫をした。商

規格書定型化

迅速でタイムリーな 試作品提案が可能に

社設置型の品質情報統
合データベース(DB)
「メルクリウス」を、
製品開発部門では配合
・食品法規マネジメント
・データベースの「キ
ューベル」も導入した。

当初、製品開発部門は
MSアクセスでの独自
DBで配合や表示に対
応したが、それを「キ
ューベル」に置き換え、
物情報に問題はない
が、既存の規格書には
導入の際、メルクリ
ウスの中でワークフロ

提出までの一連の流れ
をワークフローとして
「YQAS」(ヤマサ・
ユアランス・データベ
ースシステム・プロジ
ェクト)をキックオフ
ランス・データベース
システムを構築し、
実稼働は15年12月から
となった。

導入メリット

重大な問題は上がって
いない」(府川博文品
質情報管理室長)とい
う。従来、1ヵ月かか
っていた原料情報チェ
ックが、ワークフロー
で、1週間に短縮でき
た。チェック後コード
が発番され、発注が可
能になる。原料・資材
とともにシステム化し、
高い安全性も確保でき

品規格書提出で最も注
力したのが「規格書の
定型化」だ。顧客に提
出する商品規格書を定
型化することで、品質
保証部が一度作成した
「定型規格書」は営業
が品証を介さず商品規
格書を送れ、履歴も追
える。担当者に変更が
あっても履歴が残って
いるため仕事の連続性



をもとに正確な商品荷姿情報を作成し、商品配送時はトラックの積載で最適な荷姿選択し物流コストも低減する工夫ができた。

今後の課題

原料サブライヤーとして「複数社」同一規格書が使い利便性は高いが、メルクネットは十分に普及しているとはいえない。全体の20%程度拡大すれば業界にも影響がある」(田中武臣品質情報管理室主任)と期待大だ。新表示ではラベル変更も必要だ。キューベルが新システムに対応し、ネットで規格書が集まれば大幅な効率化になる、という。

(江端哲也)